



三星の風

新たな出発！入学式

四月九日（金）第六十二回入学式が、穏やかな天気のもと、盛大に、厳粛に挙行されました。大隅地区三十一の中学校から集合した新入生男子百六十五名、女子百五十四名の計三百十九名は、真新しい制服に身を包み、保護者・来賓の見守る中、各担任から呼名された後、学校長から入学の許可を受けました。

新入生は、井上明文校長から、鹿屋高校は勉学に勤しむ所であり、「自ら積極的に学ぶ姿勢を持ち、家庭学習を欠かさず行う」と、「鹿屋高校の良き伝統と校風を継承する」との二つを心にとどめて努力し、これからの三年間が実りある年月となるようにとの励ましを受けました。三嶋晃PTA会長からは、「個性とは、自分のしたいように振る舞うのではなく、しっかりとした基本の上に自分の特性を活かすことだ。地域・保護者の期待に応えるべく創意・改善・向上に努めるように」とのお祝いの言葉をいただきました。



新入生代表宣誓をする
坂口 愛さん(波野中出身)

第13号

平成19年5月1日
鹿児島県立
鹿屋高等学校

これを受けて新入生を代表して、坂口愛さん（波野中学校出身）が、三星の旗の下に知・徳・体を調和的に向上させ、友情を深め、切磋琢磨し合い、次なる大きな目標に向け努力することを力強く宣誓しました。

式が終わり、吹奏楽部による新入生歓迎演奏が行われ、新入生は、共に学校生活をすごす各クラスに案内されていきました。

宿泊学習 第一学年

一年生を対象に今年度から新たに始まった学校行事である宿泊学習が、四月十八日（水）～二十日（金）の二泊三日、国立大隅青少年自然の家で実施されました。集団宿泊学習を通じて、学年の共同体意識を育て「知・徳・体」の調和のとれた三星健児を育てること、寝食を共にし学習の習慣化を学年集団に醸成すること、生徒相互の人間的な触れ合いの中で望ましい人間関係を構築することな

どを目的とした企画でした。

一日目は、出会いのつどい、オリエンテーション、礼法指導、四時間の教科ガイダンス・クラス活動、夕べのつどい、夕食後の二時間の自学自習。二日目は、朝のつどい、四時間の教科ガイダンス・クラス活動、進路指導主任による進路事例発表、同窓会長青山三郎さんによる校歌の由来と内容についての講話と、音楽の大川内先生による校歌指導、整列指導、夕べのつどい、夕食後の二時間の自学自習。最終日となる三日目は、万滝への往復十Kmのハイキング、別れのつどいと内容も多彩なものでした。

入学後八日からのこの宿泊学習は、まだ中学生らしさも残る一年生にとっては大変な部分もあったでしょうが、高校生としての学習のあり方、平常の生活の仕方、なによりもクラスや友人との触れ合いや交流は何にも代え難い体験となったものと思います。



教科ガイダンスで鹿屋高校の学習スタイルを徹底的にマスター!



おいしかった！バイキング



万滝へのハイキング



校歌について説明する同窓会長

また、二日目の自学自習の時間には、入学式後に各学級担任から保護者へ呼びかけ、生徒達には秘密で集められた「保護者からの手紙」がそれぞれに手渡されました。照れくさいながらも、綴られたメッセージに涙する生徒の姿も見られ、親元を離れた宿泊学習という場で改めて家族というものについて考えることができていたようです。その後今度は生徒一人ひとりが「保護者への手紙」を書き、普段言えないようなことばも含め、様々なメッセージを綴っていました。

初の試みとなる宿泊学習でしたが、新入生の三星健児としてのスタートに勢いをつけてくれることでしょう。

一日遠足

4月20日(金)

2年 霧島ヶ丘公園
3年 高隈登山

2学年

二年生は、恒例の「霧島ヶ丘公園」まで片道七Kmの徒歩での遠足を実施しました。好天気恵まれ、点検・諸注意の後、クラス毎にゆつくりとしたペースで歩き、途中の景色を楽しみながら予定時間より早く目的地に到着しました。

公園では、自由に昼食を取ったり、クラス毎でのレクリエーションとして、サッカーやドッチボール、ゴーカードと友達同士の輪を広げ合うことができました。中には、バラ園に入園し、咲き始めたたくさんバラをめでながら園内を散策する集団もあり、暖かな日差しの下で、ゆつくりとした時間をすごすことができました。

3学年

三年生は、高隈御岳(一、一八二m)の登山が実施されました。

諸注意の後、バス十一台に分乗し鳴之尾牧場で下車し、学級写真を撮影し登山を開始しました。急斜面の林道を抜け五合目まで達し十分ほど舗装道路を通り、いよいよ階段をのぼり六合から七合目のテレビ塔に着く頃には、職員に疲労の色が濃くなりましたが、生徒たちは、元気に八合目から九合目の難所をものともせず登っていきほぼ全員が頂上に到達しました。昼食をとり、最後のグループが



ゆつくりも今のうち



頂上にて昼食(3年)

登り終えると、順次下山を開始し、早い生徒は二時すぎには下山を完了する健脚ぶりを披露した者もいました。二時間もかからずにかげ声をかけながら下りていく男子生徒、校歌を歌いながら楽しそうに下りていく女子生徒、太ももが痠痛しながらも我慢して歩き続ける生徒と、その姿は色々様々でしたが、例年、この登山は受験の厳しさに喩えられます。下山する中で、「本当に辛かった。今からの受験の厳しさを実感した」ともらす生徒がいましたが、その表情は走破し終えた自信や達成感が感じられるものでした。六十期生、三学年の、「やるときはやる」三星健児の飛躍と頑張りが期待できる一日となりました。

新任者紹介

(前任校)

- 教頭 松高 全一 (鹿児島中央高校)
- 国語科 青柳 江美子 (加治木高校)
- 瀬戸 和久 (鹿児島商業高校)
- 中村 聡子 (期限付)
- 地歴・公民科 中俣 瑞希 (期限付)
- 理科 千頭 一郎 (沖永良部高校)
- 前川 可成 (新規採用)
- 花木 孝輔 (期限付)
- 海老原 麻美 (期限付)
- 保健体育科 中山 暢宏 (鹿児島水産高校)
- 上村 洋介 (新規採用)
- 英語科 薬丸 賢吾 (大島高校)
- 藤田 典子 (鹿児島中央高校)
- 岩川 奈穂子 (期限付)
- 家庭科 山崎 菜月 (期限付)
- 実習助手 塩満 正一 (徳之島高校)
- 事務主事 永井麻衣子 (育休代替)
- 非常勤 (地歴) 一田中梨穂 (保体) 一湯川徳子・小園めぐみ

頑張った！59期生 (平成19年3月合格状況)

大学	19年度		18年度
	国立	私立	
短期大学	110(10)	44(3)	137(8)
	175(12)	15	25(1)
準大学等	7	31	265(25)
	28	7	17
専修学校等	26	31	22
就職・その他	26	7	13

()は過年度卒

5月の主な行事

- 二日(水) 開校記念講演会
- 十四日(月) ～六月八日 教育実習開始
- 十七日(木) PTA総会
- 十八日(金) 薬物乱用防止教室
- 二十四日(木) 生徒総会

卒業生へ！同窓会の案内

三星会関東支部では、本年も関東地区に進学、または就職された新会員を招待し、歓迎会(五月会)を開催します。新会員の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

日時：五月二十四日(木) 十八時～
場所：日本青年館
新宿区霞ヶ丘町七一
(電話)03-3475-12550
交通機関
JR総武線千駄ヶ谷駅徒歩十分
東京メトロ銀座線外苑前徒歩八分

※詳細については、関東三星会のホームページをご覧ください。

<http://www.k4.dion.ne.jp/~ssk/>

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。
<http://www12.synapse.ne.jp/kanoyakoukou/>